

Honjo Rotary Club weekly report

Rotary International District 2570 Group 4



世界へのプレゼントになろう

No.53-45 第2572回 例会2016年6月16日 (木)

移動例会

会長 茂木 正 会長エレクト 中島高夫
副会長 八木茂幸 五十嵐敦子 岡芹正美 幹事 金子 章
2015～16年度国際ロータリー会長 K.R. “ラビ”ラビンドラン
第2570地区ガバナー 高柳育行

移動例会 入間航空自衛隊基地見学 他

集合出発 8:30 解散 16:30

会長の時間 茂木 正 会長

本日は早朝より入間航空自衛隊基地への移動例会にご出席を頂き誠にありがとうございます。

昨日は、前本庄商工会議所の会頭で有り、ロータリークラブのメンバーでもありました真下恵司様のお別れの会にはロータリークラブからも沢山のご参加を賜りありがとうございました。故真下会員のご冥福を改めて皆様とお祈りいたしたいと存じます。

さて今日は入間航空自衛隊基地への見学を主とする移動例会でございます。中型輸送機C-1などの搭乗見学もして頂けると思います。今年度は自衛隊の見学例会は、横須賀海上自衛隊に次いで二度目です。自衛隊とか軍隊とかいうと、すぐに戦争とかと結びつけて考えてしまう様な教育を受けて私達は育ったような気がします。

紀元前250年頃ローマが地中海諸国に覇権をしようとした時に、その頃地中海貿易で商業国家として大いに栄えていたカルタゴと言う国家がありました。進出してきたローマ帝国とカルタゴとは地中海の覇権をめぐる争いが起こります。カルタゴは第二次ポエニ戦争での敗戦後、軍備を放棄するに至りました。カルタゴの将軍ハンニバルはローマから企みを感じ軍備を放棄する事の危険性を市民に訴えましたが、平和ボケした市民は聴く耳を持ちませんでした。ローマは経済力のあるカルタゴを脅威に感じ、軍隊で攻め落としてついにカルタゴは滅んでしまいました。

どこかカルタゴと現在の日本が私にはダブって見えます。戦争の放棄（軍備の放棄）、日本は悪い事をしたと教えられた間違った教育。平和ボケした市民！まさしく今の私達の国日本の事です。

日本人は悪い事をした、戦争はいけない！そう刷り込まれてしまいました。戦争が悪い！あたりまえです、しかしその悪いと教えられた日本は国際法に基づいて戦争を行いました。白人に歯向った有色人種の日本と言う国を潰し、欧米白色人種にとって将来の脅威である日本民族の芽を摘んでしまわなければならないとしたのです。日本をカルタゴと同じような破滅への道を歩ませようとすることが戦後の教育であり占領政策でした。いい加減な憲法と教育を押しつけて、民族性を失わせること。平



和ボケにして民族自主独立の意思を持たせない事。

それこそがGHQの占領政策でした。ままと戦前の美德とされた日本の善い所は失われ、悪い所だけを増長して教育されたような気がします。私達はカルタゴの轍を踏み事無く、日本民族を守り国を発展させる義務を負うものと考えます。

先日ソウル国際大会に行ったとき、ソウルの町の中至る所で目にした、竹島へのアピールは私達も見習わなければいけません。軍隊（自衛隊）は必要としない、話し合いで解決する！そんなに国際社会は甘くありません！イスラエルやISに対話で解決をと話してみたらいかがですか！そんな民意では竹島も尖閣も全てが外国の領土となってしまいますし、それだけではなく日本と言う国家が消滅する事へ繋がります。

どこの国でも平和を求めています、当然です！私達の国日本もそうであるように平和への守りとしての軍隊を保持して自主独立国家として自立すべきです。少なくとも近隣諸国と対等に対話出来る状況を作り出すべきです。

自分の家に土足で勝手に入り込んで挑発されても何も感じない事が問題です。もし日本が当事国へ同じことをしたらどうなる事でしょう。国際法に準じて当然の結果が起こる事でしょう。日本が自衛をする事は悪いことで、他国が日本に侵攻しても許されるのですか！？フオークランド紛争でも、英国とアルゼンチンが戦いました。戦争行為は別にして当然の事です。敵国人を殺した兵士は英雄です、犯罪者ではありません。

自衛隊員が自衛の為に、領海を犯してきた敵国人を殺したら殺人者として裁かれるような馬鹿な法律は即刻改正すべきです。自衛隊が自国の防衛と自国民を守る存在であることを皆さんと共に再認識したいものです。

入間航空自衛隊基地見学



次回プログラム発表

6月23日(木) 12:30~

第4例会

卓話：加藤玄静 元パストガバナー

(RI会長代理)

本庄高校感謝状贈呈式



広報雑誌委員会 山田喜一・浅香 匡・梅村孝雄・福島正美

■例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

■事務所 埼玉グランドホテル本庄700号

〒367-0041 本庄市駅南2-2-1

TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄

Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp

ホームページ

<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>